

9. 世代間交流環境保全活動

グループ名 山陰 MORE

代表者 藤原 龍嗣

①活動の目的

島根県松江市は「国際文化観光都市」であり、県内外からたくさんの観光客の方が来松されます。これからの季節は風光明媚な島根の海を楽しみに来られるお客様もたくさんおられます。しかしながら、漂着ゴミの量は膨大であり、毎年これらの回収作業は地域の一部の高齢者の方のみで行っておられるのが実情です。そのため、我々若い力と、子ども世代の小中高校生と地域の高齢者の方と力を合わせ環境整備を行い、このきれいな海岸が永続的に続くよう活動を継承していきたいと考えこの活動を行うものであります。

②活動概要

この活動では、海岸清掃や遊歩道整備を行うとともに、参加する子どもたちに対して、元ボランティアセンター職員である参加者からボランティアに関するお話を分かりやすくさせていただき、その活動意義を理解させてから活動を実施しました。

(1) 活動場所 島根県松江市島根町にある国立公園に指定されている桂島

(2) 活動日 2015年3月29日(参加者:16名)

2015年6月18日(参加者:22名)

2015年8月16日(参加者:21名)

2015年9月22日(参加者:8名)

(3) 活動内容

ア 現地の方との実施計画の打合せ

現地で行われる海開きや海水浴客の状況等を現地の方と確認しながら、具体的に活動を行う日程や進行方法について打合せを行い活動時期が決まり次第、SNS等により呼びかけを行った。

イ 子どもたちに対するボランティア活動のお話

子どもたちを集めてすぐに活動開始ではなく、なぜボランティア活動を行うのか、それによってど

のようなものが生まれるのか、どのようなことに気を付けなければならないか等分かりやすく講義を行った。

ウ 漂着ゴミ撤去作業

島で主に海水浴の場となる部分は2か所あり、それぞれ大人と子どもをセットで配置し危険が及ばないよう細心の注意を払ってゴミの回収を行った。ゴミの量は大量であり、人力で収集車が来る道端まで運ぶのは不可能であるため、船をお借りし、それにより陸地まで輸送した。

エ 遊歩道整備作業

遊歩道は草で生い茂り、倒木もたくさんあることから、大人が草刈りや倒木を運びやすいように切断し、ある程度年齢が高い子どもたちと協力し遊歩道外にそれらを撤去した。

オ 作業後の振り返り

子どもたちと昼食をとりながら活動についての振り返りを行い、今後も一緒に活動するよう導いた。

③決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
支 出	ボランティア保険保険料 (3回: 59名分)	8,849
	参加者昼食代 (3回: 59名分)	48,401
	消耗品費	15,258
	かご、ガス、虫よけスプレー、紙コップ、収納ボックス ゴミ袋、刃カバー、ゴミ袋、ガソリン2缶、飛散カバー、 ガーデングラス、レーキ	
	草刈り機借り上げ料 (3,000円*3台*3回分)	27,000
	草刈り機修理代	6,467
	機材搬入レンタカー代	10,373
	レンタカー用車両燃料費	486
	合 計	116,834

